

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270201538		
法人名	有限会社 アニマート		
事業所名	グループホーム さわやか	ユニット名	
所在地	佐世保市瀬戸越2丁目1788番地		
自己評価作成日	平成30年6月15日	評価結果市町村受理日	平成30年10月01日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般財団法人 福祉サービス評価機構		
所在地	福岡市中央区薬院4-3-7 フローラ薬院2F		
訪問調査日	平成30年8月26日	評価確定日	平成30年9月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの周囲は、花を植え、畑は季節の野菜を育て食材に利用している。オヤツは手作りで利用者の方に提供している。重度の方、他施設を断られた方、男性も分け隔てなく受け入れている。家族の希望があれば、看取りもしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

“グループホームさわやか”の玄関に入ると、笑顔いっぱいの職員が迎えて下さり、ホームの中からは楽しい笑い声が聞こえてきた。職員の離職も経験してきたが、施設長(看護師)、管理者、主任を中心に職員全員が結束すると共に、職員自身が“笑顔で笑っていること”を心がけ、入居者の方々が明るく過ごせるように努めてこられた。長く勤務している職員も多く、優しい職員ばかりで、入居者の方々への声かけや関わりも丁寧で温かい。入居後、次第に穏やかになれる方も多く、入居者の方々の意思決定を大切にすると共に、できる事はご自分でして頂いている。家族の面会時間も自由にして頂き、家族の方々と情報交換も密にされており、遠方の家族の方などは、定期的に電話で連絡を取り、ご本人と家族の絆も大切にされている。施設長は地域の事も大切に考えておられ、今後も佐世保市役所への働きかけを継続し、災害対策等の具体化を目指していく予定である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input checked="" type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全体会議・ケア会議にて理念と、利用者への対応・職員間の連携・情報の交換を行っている。	理念にある「地域社会の一員として」、地域の祭りに参加したり、「衛生的な環境の中で」過ごせるように、清掃担当の職員等がホームを綺麗にしてくれている。「自己実現の自由を促す事に努めます」と言う理念も大切に、入居者の意思決定を大切に、要望を叶えられるように努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	紙芝居・散髪等のボランティアとの交流。町内会行事への参加交流。保育園行事参加、または芋掘りへホームの畑へ来所交流継続。散歩時の地域住民への挨拶も継続。また、近所の私道の除草作業、川の清掃をホーム長がいない、ご近所との関係作りを行っている。	保育園のお遊戯会に参加し、子供達と食事を楽しまれたり、生け花等のボランティアの方との交流も続いている。川掃除に参加し、蛍の鑑賞も毎年できている。近所の方から筍等を頂いており、近所の方から、「(入居者が)1人で歩いていたら教えてあげよ」等のお言葉も頂いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて認知症や介護保険の動向・介護予防についての勉強・報告を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事故とヒヤリハットの違いの基準などをご指導頂いたことを、職員間で話し合うなどサービスの向上に努めている。アミノ酸利用者の状態の変化も1年6ヶ月通して報告を行うなど、継続した経過報告にも努めている。	日々のケア状況の報告と共に、介護の現場や人員体制などの課題も報告している。災害対策の情報交換も行い、最適な避難場所の検討等を行っている。治療状況の報告も行われ、内服薬を中止した経緯やホームでのケア内容を報告し、有効な栄養補給方法の報告も続けている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議へ参加して頂き、情報の交換を行っている。	更新申請時などは施設長が市役所に出向いており、地域住民の実情や事業運営の実情を書面で報告している。佐世保市の委託事業で介護教室も続けており、地域貢献を続けている。医師会と市が中心に「救急搬送時の情報提供書」を作成し、緊急時に活用できている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ケア会議・勉強会にて職員間の情報共有を行い、拘束や服薬に頼らず、本人の思いに寄り添うように対応している。玄関の施錠は外からの侵入者予防として行い、内部からはワンタッチで出られるようにしている。	「身体拘束をしない」取り組みを運営推進会議で報告している。感情不安定が見られる時は原因を把握し、心のケアを優先すると共に、主治医と連携し、睡眠薬や向精神薬を中止する方法も取られている。玄関と非常口の電気錠は、中からワンタッチで開錠できるシステムになっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ケア会議前に毎月虐待マニュアルの復唱を職員全員で行い、職員間で虐待が行われていないか確認を行っている。		

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在必要な利用者は入居されていないが、必要に応じて勉強会や研修の参加を実施している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必要時書面または直接説明し、理解を得るようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	要望箱の設置、面会時や常時参加時または電話連絡にて日々の様子の報告を行い、何か要望はないか話し合うようにしている。また、利用者の要望にも添えるよう、食べたい物や行きたい場所などを聞き、可能な限り対応している。	面会時や電話等で日々の暮らしぶりを報告している。必要時は自宅訪問し、話し合いを行っている。家族からは「穏やかに、本人らしく、元気に」などの要望が多く、ご本人の希望も伺い、「買い物に行きたい」「アイスクリームが食べたい」「甘いものが食べたい」等の要望を叶えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議にて仕事内容、利用者についてなどの意見や困っている事がないかの応答時間を設けている。また主任が個人的に何か困っていないか質問するようにしている。	職員の結束は強く、毎月2～3回の会議(全体会議・ケア会議)と勉強会(奇数月)に積極的に参加している。管理者や主任が職員の相談に応じ、施設長に報告している。施設長から介護保険制度や医療面、栄養面、ケア内容、整理整頓などの指導等を受けることができている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給料が上げられないので困っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務体制がオール8時間勤務の5交代制にすることで外部の研修も休日参加ではなく、勤務時間内で行けるよう人員配置ができ、参加しやすくなった。外部研修参加者は勉強会にて研修報告を行い、情報の共有化に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	各種研修案内が来たら、職員全員に閲覧してもらい、参加を促している。		

自己	外部	自己評価		外部評価	
		実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人・家族からどのように過ごしたいか、生活歴はどのようなだったか、現在困っている事などの話をよく聞いて、安心して過ごして頂けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に施設訪問して頂き、施設内の様子を見て頂く事や、面談の際に心身の状態の確認や、ご本人、ご家族の要望等の確認を行い、関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する初期の段階で、ご本人ご家族の意向を十分に確認しながら優先して対応する課題は何なのかを検討し、対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に支え合いながら、出来る事はご自分でしていただき、出来る喜びを見出しながら、自信を持って生活して頂けるように努めている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間は自由に、外出も体調をみながら自由にして頂いている 遠方の方などは、定期的に電話で連絡取り合いながら、家族の絆を大切に、共にご本人を支えていく関係を築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブなどで、馴染みの場所へ行ったり、ご友人に面会に来て頂いたりしている	生活歴や仕事、趣味、馴染みの関係等を把握している。家族と自宅に帰られたり、お墓参りに行かれている。入居者に年賀状を書いて頂いているが、書けない方は拇印を押させて頂いている。散歩の時などに近隣の方(馴染みの方)と会話を楽しまれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の交流は、日中の大半をリビングで過ごされており、寝たきりの方も、レクレーションや誕生日会などの行事を通して、定期的に交流し孤立せず、良好な関係を築く事が出来るように努めている		

自己	外部	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も家族の経過をフォローし必要に応じて相談、支援している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人・家族から思いや生活歴を聞き、意思疎通が難しい方は表情や状態の変化に気を配りながら把握に努めている。毎月利用者の食べたい物を調べ提供し、思いや希望の実現に努めている。	入居者と会話する時間を増やしてこられた。意思疎通が難しい方にも声かけを増やし、ソファと一緒に座り、手を繋いで表情や行動などで思いを把握するように努めている。ご本人がどのようにしたいと思われているのか、根強く思いの把握を続けている。	入居者の方々とゆっくり会話したり、ゆっくりと関われる時間を増やしていきたい、今後も更に入居者の方々の想いを把握していきたいと考えている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人、家族から生活歴やサービス利用についてお聞きし、これまでの生活歴や馴染みの暮らしを大切に、施設での暮らしに生かすように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日を通しての過ごし方や、心身状態について記録し、変化があれば申し送りへ記入。職員全員で情報を共有、ケアの統一に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケア会議にて情報を共有し、変化があればプランの見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。介護計画は本人、家族へ変更があればその都度報告し、同意を得ている。	ADLの変化や認知能力の変化(MMSE検査)を把握し、看護師から留意点等も教えて頂いている。買い物支援、花の水やり、リハビリなど、24時間の生活やケア内容が盛り込まれている。毎日の介護提供表とレクの参加一覧表も作成し、実践状況を記録している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日を通しての様子や、気づいたことを療養記録へ記入し、気になる所、変化があれば申し送りへ記入し、職員全員で情報共有しながら実践や計画見直しへ活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その方の状態の変化に応じて食事介助方法を変更したり、食事形態を変えたり(トロミ・刻み食)、栄養補助ゼリー、高カロリー飲料などで対応できるように、利用者の状態に合わせて対応している。		

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの訪問を大切にしている。保育園の行事参加、保育園への芋掘り体験、地域の祭り、子供110番の家などに参加し、地域交流を大切にしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調の変化、バイタルの状況などに変化があれば個別にデータを記入し、かかりつけ医に説明できるようにしている。かかりつけ医、看護師と連携を取りながら服薬調整をしている。	施設長が看護師であり、適宜指示を頂いている。毎週の訪問看護も利用し、内科の医師と訪問看護師とも24時間連絡が取れる。通院介助は職員や施設長が行い、家族と情報共有できている。職員も丁寧な観察を続けており、早期発見・早期対応に繋げている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化、皮膚の状態、バイタルの異常など細かく訪問看護師に伝え、受診するなど適切に対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時はかかりつけ医からの紹介状、その他利用者の情報提供に努め、適切な医療を受けられるように対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化・看取りの指針に沿って説明を行い、かかりつけ医、訪問看護ステーションと連携している。	重度化、看取りの指針を作成し、入居時に説明している。「入院」「ホームで訪問看護で対応」「医療的処置や延命治療」等を説明し、ご本人や家族に選択して頂いている。29年度も1名の看取りケアが行われ、医療関係者や家族と連携しながら、誠心誠意のケアが行われた。終末期は医師の往診も受けられている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修や勉強会にて急変・事故時の対応を検討している。消防訓練は毎月、AED訓練は奇数月に行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	消防設備(感知器、消火器、スプリンクラー、通報装置)の設置。毎月防火自己点検、消防訓練の実施。地域住民への火災放送のテストの実施。災害時の対策と住民との協力体制を話し合っているがまだ不十分。	年2回、消防署と訓練している。近隣の方にホームの平面図を配布し、訓練放送を毎月行う事も報告している。訓練時の放送を聞き、町内の方が駆け付けて下さり、放送の効果を確認する事ができた。居室の多くは2階にあり、自然災害時は2階に避難予定になっている。隣接する施設長の自宅に避難できるスロープもあり、夜間用のライトも設置している。食糧や水等をリュックに常備し、救急情報シートも作成している。	30年度に自然災害の防災計画書が完成予定である。ハザードマップ上で土砂災害地域になっており、今後も災害時の地域の課題を運営推進会議等で確認すると共に、計画に基づいた訓練を行うにあたり、公民館などの避難場所が最適かどうか、備蓄状況も含めて、市役所と検討していく予定である。

自己	外部	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員の声掛けが不適切と感じる時はそれぞれの職員が注意があったり、会議で話し合うようにしている。	優しい職員ばかりで、言葉遣いにも配慮している。施設長は「入居者の意思決定を大切にしよう」に職員に伝えており、職員は入居者の立場に立った介護を心がけている。入居者同士の関係性にも配慮し、職員が間に入り、少しでも穏やかに生活できるように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	体調を観察しながら本人の意思を確認し、日々出来る事に参加できるように対応している。本人が選択できるような声掛けを心がけるよう会議にて指導している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調を観察しながら、本人の意思を確認し、自由に生活をしていただける様に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	選べる方は自分で選んで頂いている。洗顔、化粧、整髪、髪染めなど本人の希望に沿うように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を確認、野菜皮むき等や下膳の手伝いなどを行っている。	調理専門の方や職員が美味しい料理を作られており、入居者もねぎや豆の皮むき等をして下さる。調理の方が休みの日は配食や冷凍食材を利用しているが、味も良く、入居者にも好評である。メイバランス飲料やアミノ酸等の補給も行われ、次第に元気になれる方が多い。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者に合わせて食事量・水分量を調整している。必要な利用者には高カロリー飲料やヨーグルト寒天、アミノ酸接種や糖質カットの砂糖の使用などを行い対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。毎月歯科衛生士に来て頂いて口腔内の確認、口腔ケアを行っている。必要な利用者には液体歯磨きなどの個々の対応を行っている。		

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別の排泄時間や布パンツ・リハパン・尿取り等の必要性を話し合い対応している。毎日の失禁予防体操の継続を行っている。	ご自分でトイレに行き、自立している方も多く、個別のトイレ誘導で失禁を減らすと共に、失禁予防体操も毎日行われている。個別に排泄状況を把握し、布パンツ(パッド)、リハビリパンツ、オムツ等の必要性を検討している。運動や食事などで快便に繋がるように努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や繊維食接種(ヨーグルト寒天)、水分量の調節、下剤は個人別に必要量の検討を行い対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の順番や声掛けを工夫して対応している。	1階の浴室で入浴される方が多く、できる範囲は自分で洗われている。湯船に浸かり、職員との会話を楽しまれ、柚子湯や菖蒲湯等で季節を感じて頂いている。座位保持が困難な方は2階のシャワー室で入浴し、2人介助も行われている。入浴日以外は陰部洗浄が行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	習慣、体調、訴えに合わせて居室で休んで頂いたり、本人が落ち着くまで話を聞くようにし対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬一覧表を作成し、職員がいつでも確認できるようにしている。利用者の日々の状況を観察し、看護師と医師へ報告相談をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日レクリエーションや体操を実施。その他個人別にも塗り絵やぬいぐるみの世話をされたり、ホームの手伝いなどをされている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎年花見、動物園やドライブなどへ出かけている。重度化されている方、外出を好まない方は無理には連れて行かず、玄関先の花を見たり、2Fベランダでお茶会をして対応している。買い物を見学の方は日曜日や受診がない日に対応している。	ホームの裏の桜が見事で、ベランダの椅子に座って花見をされている。施設長が運転し、花見(紫陽花、紅葉)やドライブ、動植物園等に出かけており、動物園の時はボランティアの方も来て下さり、ジョイフルでの食事でも楽しまれた。自宅まで送迎したり、買い物、祭り、お遊戯会に行かれており、家族と外食等を楽しまれている。	

自己	外部	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お小遣いを本人管理している方が3名。本人の欲しい物を職員も一緒に考え、必要である物を職員が買ってきたり、一緒に買い物へ行き対応。お小遣い以外は全員事務所管理。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状は毎年職員も手伝いながら本人に書いてもらい、やり取りを続けている。家族が遠方の方は本人が望むと時に電話をかけたり、定期的に家族から電話が来る利用者もいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・リビングには季節の花を飾り、季節感が出るようにしている。季節に合わせて調光・窓・エアコンなどで対応している。利用者がここで生活をしていることが解るように写真の掲載も行っている。	入居者個々に日課があり、ご自分のペースで過ごされている。窓際に全員が座れるソファがあり、昔の遊び等(回想法)も行われ、会話を楽しまれたり、洗濯物を畳まれている。意思疎通が困難な方は職員が間に入り、優しく声かけをされている。ボランティアの方の生け花教室(月2回)も続けられ、入居者の表情が凜となる時間も過ごされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファにて座る場所が固定するので、気が合う利用者同士が座れるように調整し、それぞれが孤立しないように対応している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族とも相談し、本人の馴染みのあるもの(写真、ぬいぐるみ、ラジオ、テレビ、仏壇、マッサージ機など)を持ってきてもらい対応している。	1階に1部屋あり、他の居室は2階にあり、居室入り口に笑顔の写真が貼られている。電動ベッドと衣装ケースは備え付けており、仏壇に生け花を供え、手を合わせる方も多い。居室で過ごす時間が長い方は、ラジオやお好きな音楽を流したり、他の入居者も訪室して、声かけをされている。	

55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・居室・風呂場など表示をして解るようにしている。廊下・トイレ・L字柵を使用し、立ち上がりや歩行を出来るだけ自力で出来るように対応。食事介助も初めから全介助ではなく、本人が自分で咽ずに食べれるように工夫している。		
----	--	--	--	--